

YZF-R1M アプリ YRC Setting/Y-TRAC 操作説明書



※本資料の画面イメージは合成のため、実際の画面を再現していない箇所がございます。
また、お使いの端末、搭載OSにより画面が異なる箇所がございます。
その他、車両年式の違いにより表示が異なる箇所がございます。

※車両とのデータ送受信は、車両に搭載するCCUユニットとタブレット／スマートフォンのWi-Fi接続を設定いただき、メインスイッチがONの状態でないとは通信できません。

※CCUの装備にはシートカバーの取り付けが必要です。

シートカバーを取り付けると乗車定員は1名になり、乗車定員変更に該当するため申請が必要となります。
CCU及びシートカバーの取り付けについては、お買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。

アプリのインストールに関する注意事項

本契約については、本ソフトウェア製品の起動時に英文にて画面表示されます。

画面中の『I Agree』の欄をチェックすることで、お客様が本契約の全文を読み、ご理解いただいた上で、本契約の定める条件に同意されたことが確認されるものとします。同時に、お客様より本契約を受諾する権能と権限を有していることが証されたものとします。本ソフトウェア製品には、本契約の英文が保存されており、いつでも参照可能です。

YAMAHA END-USER LICENSE AGREEMENT

ヤマハ・エンドユーザー使用許諾契約（参考和訳）

重要-以下の事項を必ずお読みください

このヤマハ・エンドユーザー使用許諾契約（以下「本契約」といいます）は、お客様（個人、法人であることを問いません）とヤマハ発動機株式会社（以下「ヤマハ」といいます）との間の法的な契約であり、お客様が本ソフトウェア製品『YRC Setting / Y-TRAC』（以下「本製品」といいます）をご使用されるにあたり、適用される条件を定めます。

本製品のインストール、アクセスその他のご使用をされた場合、本契約の条件に対するお客様の同意があったものとさせていただきます。

本契約の条件に同意いただけない場合は、本製品をインストールできなくなっております。その場合、本製品のインストール、アクセスまたは使用を試みないようにしてください。

1. 使用許諾

ヤマハはお客様に対し、お客様よりお支払いいただいた使用許諾料金その他の有効、有価な約因の対価として、お客様が、本製品のユーザーマニュアルに記載するような目的のため、その目的に必要な限りにおいて、本製品を使用する権利（非独占的かつ譲渡不可であり、再許諾する権利を含みません）を許諾するものとします。お客様は、本製品を上記目的以外のいかなる用途にも使用してはならず、本製品を第三者に販売、貸与し、またお客様の居住国以外の国に輸出してはならないものとします。

2. 制約事項

(A) 複製の禁止 お客様は、本製品の全部または一部を、直接または間接的に、複製、翻訳等してはならないものとします。

(B) 改造の禁止 お客様は、本製品に対する逆コンパイル、分解、リバースエンジニアリングその他改変、改造行為の一切、ならびに本製品に含まれる製品識別、著作権その他の事項に関する表記の削除を行ってはならないものとします。

(C) 分離の禁止 本製品は全体で 1 個の製品として使用を許可されるものであり、本契約で別途明記のない限り、お客様は、その構成部品を分離し、2 台以上の機器で使用してはならないものとします。

(D) 第三者への譲渡または第三者のための使用の禁止 お客様は、本製品を第三者に対し提供、リース、貸与等し、もしくは第三者に使用させ、または第三者のために使用してはならないものとします。

(E) 法令の遵守 お客様は、本製品に適用されるあらゆる国内、国外の法規（輸出管理に関する規則や使用者、使用法、使用地域に関する制約等を含みこれらに限りません）に従うものとします。

3. サポート対象外

本契約の中にメンテナンスやサポートに関するサービスは一切含まれず、ヤマハは、本契約またはその関連ドキュメントの下において、サポート、メンテナンス、アップデート、改良、新版制作等を行う義務を負いません。ヤマハによるアップデート、改良、制作等が行われることがあった場合、それらは本製品の一部を構成するものとし、お客様は、当該成果の使用に際しても、本契約に定められたすべての義務、制約、条件に服するものとします。

4. 知的財産権

(A) 知的財産権の帰属 お客様は、本製品に関するすべての知的財産権（著作権、商標、発明、考案、特許、営業秘密、意匠およびノウハウを含みこれらに限りません）がヤマハに帰属することにつき、認識および同意するものとします。また、お客様は、ヤマハがかかる権利を所有することにつき、いかなる時期または方法であれ、いかなる異議をも唱えないことに同意するものとします。

(B) 知的財産権譲渡等の否定 本契約第 1 条(A)で規定された使用許諾を除き、本契約はそのいかなる条項においても、ヤマハが所有する著作権、商標、発明、考案、特許、営業秘密、意匠およびノウハウ等につき、お客様に対し使用許諾または譲渡するものではありません。

(C) 第三者の権利の侵害に関する責任の否定 お客様は、第三者の知的財産権の侵害および不正使用、ならびにこれらに伴い発生した訴訟費用に関して、ヤマハが一切責任を負わないことにつき、認識および同意するものとします。

5. 無保証

ヤマハはお客様に対し、本製品を現状にて提供するものとし、瑕疵の存在可能性を否定しません。ヤマハは、本製品に関する明示、黙示または法定のあらゆる保証（本製品の商品性、特定目的への適合性、精確性、完全性、完成度、バグやウィルスその他の欠陥の不存在等を含みこれらに限りません）を一切行いません。加えて、ヤマハは、本製品に関する権利の完全性、説明事項との同一性、他者の権利非侵害等についても一切保証いたしません。

アプリのインストールに関する注意事項

6. 責任・救済制限

不法行為責任、契約責任その他の責任概念の下、本製品の使用または本契約の条件に関連して生じた、あらゆる特別、付随的、間接的、派生的損害（利益や情報の損失、事業の中断、身体の損傷、プライバシーの喪失、その他一切の金銭的または非金銭的な損害を含みこれらに限りません）につき、お客様は、ヤマハおよびヤマハの関連会社に対する一切の権利を明示的に放棄するものとします。

7. 解除

お客様が本契約の条件に違反された場合、ヤマハは、他の権利を保持したまま、本契約を解除することができるものとします。かかる解除が行われた場合、お客様は以下の事項に従うものとします。

- (1) ヤマハの要請に従い、本製品およびその構成部品、関連書類のすべてを、破棄、消去またはヤマハに返却するものとします。
- (2) いかなる理由においても、ヤマハに対するあらゆる補償、賠償その他の請求または要求をしないものとします。

8. 雑則

(A) 準拠法 本契約は、国際物品売買契約に関する国際連合条約ならびに抵触法の原則の適用を排し、日本国の実体法のみに準拠して、これによって解釈されるものとします。

(B) 言語 本契約は、英語によって作成、締結、および実施されるものとします。本契約が英語以外の言語に翻訳されたものについては、お客様による参照を目的としてのみ用いられるものとします。

(C) 完全合意 あらゆる補足、変更契約を含め、本契約は、お客様とヤマハとの間における本製品に関連する完全な合意であって、本製品その他の本契約対象下となりうる主題に関して現時点で存在するすべての合意、提案、表明、意見等を統合し、それらに優先し、またそれらを排除するものとします。

(D) 分離可能性 本契約の特定条項の全部または一部において、無効または強制不能な要素が含まれていた場合でも、他の条項の有効性および強制力は影響を受けないものとし、かかる無効または強制不能な条項は、それらが当初意図した当事者の権利義務を可能な限り実現しうる有効かつ強制可能な条項に置き換えられたものとみなします。

(E) 仲裁 本契約に関連して、当事者に争いが生じた場合には、双方当事者の誠実な協議によって解決するものとします。当該協議によっても、合理的期間内に解決まで至らなかった場合、かかる争いは、日本商事仲裁協会により、その仲裁規則の下、日本国東京都にて行われる仲裁によって解決されるものとします。仲裁は3名の仲裁員によって行われ、仲裁に関連するすべての手続には日本語または英語が用いられるものとします。かかる仲裁の結果は、終局的な解決方法として双方当事者を拘束するものとし、当事者に管轄権を有するあらゆる裁判所にて、強制執行が可能となります。

(F) 権利放棄の否定 本契約の当事者が、本契約に定められた権利を行使しなかった場合でも、それをもって当該権利が放棄されたものとはみなされません。また、本契約で定められた権利の行使は、本契約または適用される法令の下で当事者が保持または取得する他のいかなる権利または救済にも、影響を与えるものではありません。

(G) 強行法規 本契約に規定されたいかなる条項も、お客様が強行法規の下で取得しうる、本製品に関する放棄不可能な権利の行使を制約することはないものとします。

(H) 残存条項 本契約が終了した後においても、次の条項は引き続き効力を有するものとします：**第4条（知的財産権）**，**第5条（無保証）**，**第6条（責任・救済制限）**，**第7条（解除）**，**第8条（雑則）**，**第9条（EUユーザーの特例）**

9. EUユーザーの特例

上記までの規定にかかわらず、欧州連合加盟国にお住まいのお客様に対しては、以下の条項が適用されます。

(1) お客様は、本製品に含まれるソフトウェアのプログラム（データ、データベース、ドキュメントは除く）を、バックアップ目的で1部だけ複製することができます。お客様は、かかる複製プログラムを、オリジナルプログラムが不測の事態で消失、毀損した場合に再インストールして使用することができ、それ以外の目的で使用してはならないものとします。本契約は、かかる複製プログラムに対しても適用されます。

(2) お客様は、ヤマハに対して、本製品と他のソフトウェアとの互換を図るために必要な情報の提供を、書面によって求めることができます。お客様は、ここで提供された情報を、前述の互換を図る目的でのみ使用することができ、本製品の類似品の製作や、ヤマハまたはヤマハのライセンサーが有する著作権や知的財産権を侵害する行為に用いてはならないものとします。

(3) 本製品と他のソフトウェアとの互換に必要な情報がヤマハから提供されない場合、お客様は、本製品の逆コンパイルを行うことができます。かかる逆コンパイルは、お客様または他に使用権を認められた方が、法律上許可される限りで行う場合においてのみ可能であるものとし、ヤマハまたはヤマハのライセンサーが有する著作権や知的財産権を侵害する態様で行ってはならないものとします。その他にも、ヤマハは、前述の情報や逆コンパイルに関する合理的な制約を課することができるものとします。

(4) 本契約第6条の規定は、同条規定の損害がヤマハまたはその関連会社の故意または重大な過失に基づく行為により発生した場合には、適用されないものとします。

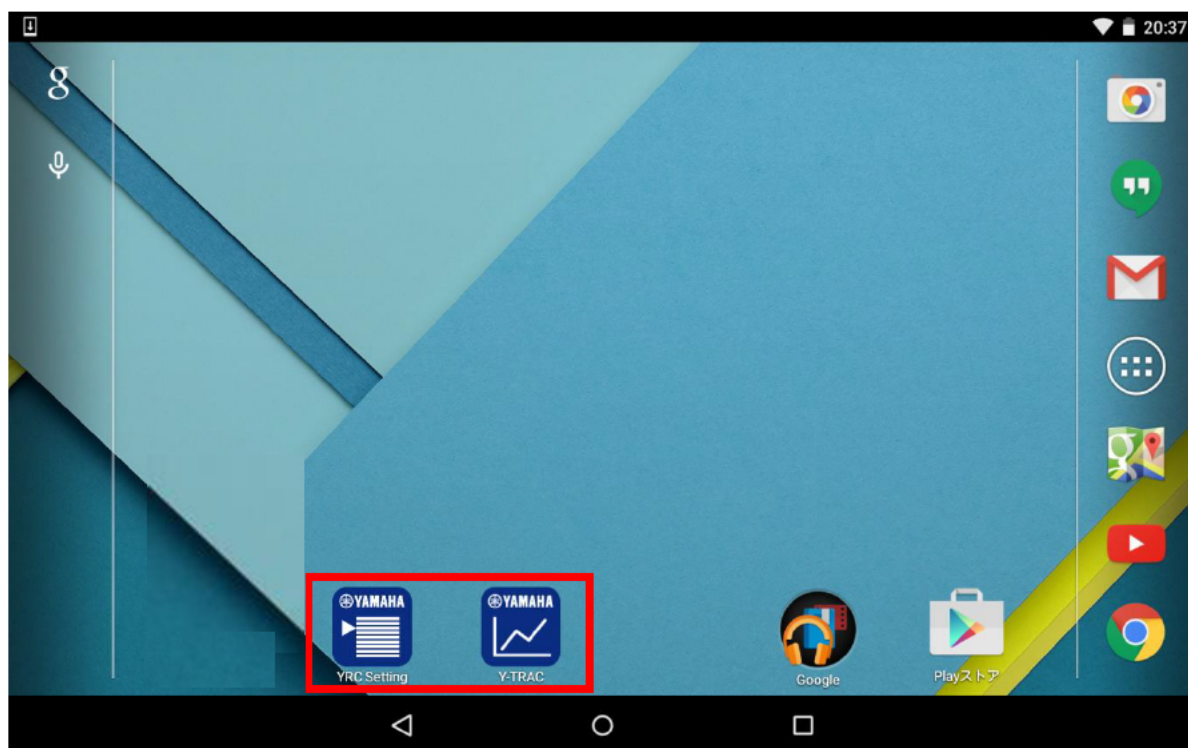
目次

1. アプリのインストール		5
2. 車両との通信設定		6
3. YRC Setting		7
4. Y-TRAC		13

1. アプリのインストール

アプリのインストール

Google play または App Store で検索し、インストールしてください。



※アイコンの場所はOS設定によって異なります



YRC Setting …YRC (Yamaha Ride Control) セッティング

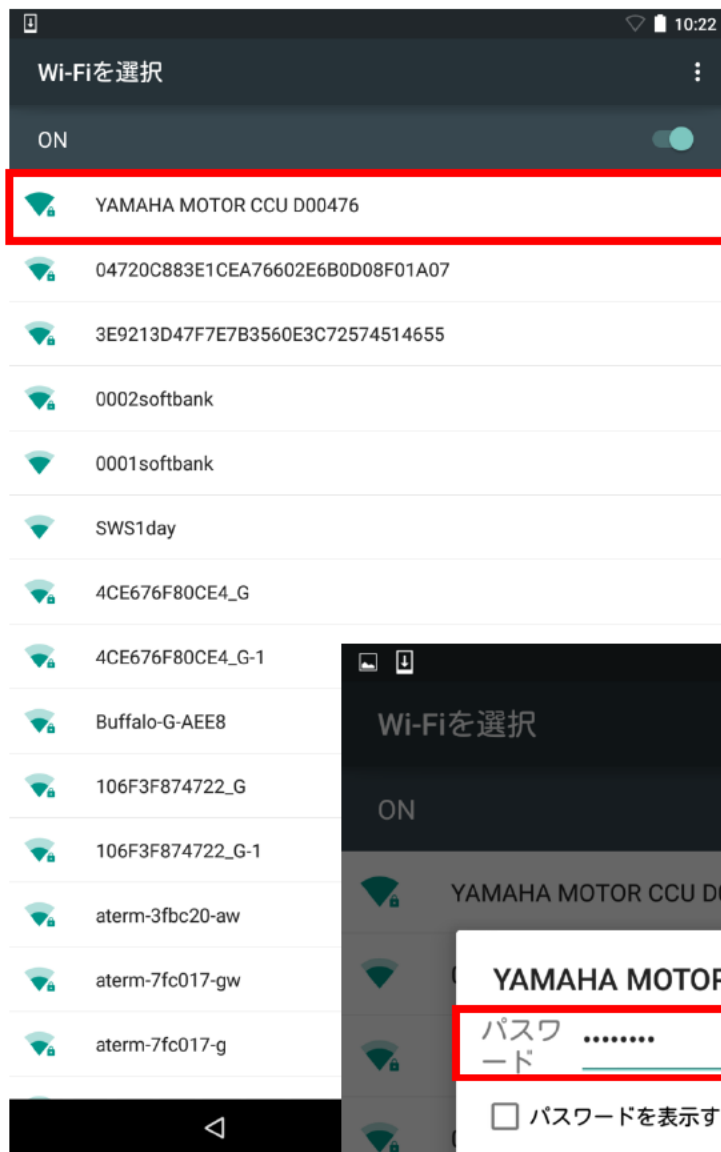


Y-TRAC …LAP計測ライン/ロギングモード設定
…走行ログデータの閲覧、比較

2. 車両との通信設定

車両との通信設定（お使いの端末とCCUとのWi-Fi接続）

Wi-Fi設定画面にてリストが表示されますので、「YAMAHA MOTOR CCU 〜〜〜」を選択し、CCUユニットに記載されているS/N をパスワードに入力すると車両との通信が可能になります。



3. YRC Setting

YRC View

メーターで設定できる内容をアプリで設定可能です。

(車両へのデータ送信はエンジン始動状態では送信できません)

- ① : 車両からデータを受信
- ② : 車両へデータを送信
- ③ : ERSセッティング画面へ移行

Y-TRAC
へ移動

MODE-A	MODE-B	MODE-C	MODE-D	YRC	PWR	TCS	SCS	LCS	QS▲	QS▼	LIF	EBM	BC	ERS
1	2	3	4	1	ON	1	1	1	1	ON	1	1	1	T-1
1	2	3	4	2		2	2	2	2		2	2	2	T-2
1	2	3	4	3		3	3	3	3		3	3		R-1
1	2	3	4	4		4	4	4	4		4	4		M-1
1	2	3	4	5		5	5	5	5		5	5		M-2
1	2	3	4	OFF		OFF	OFF	OFF	OFF		OFF	OFF		

YRC View - ERSセッティング

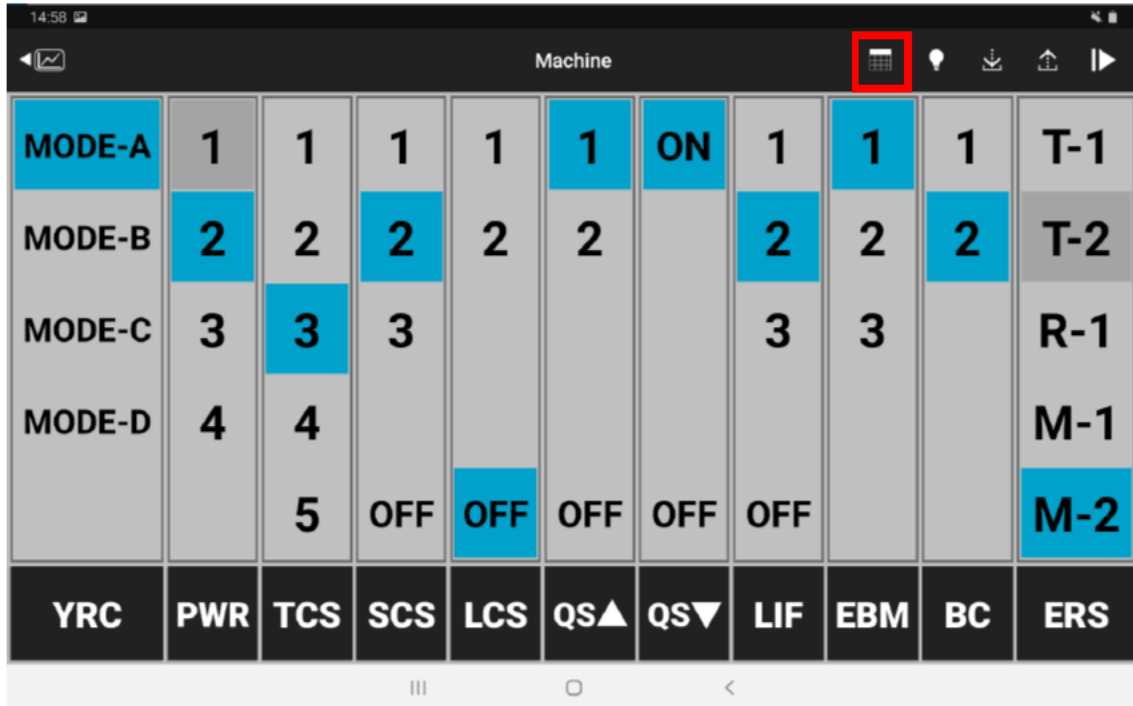
ERSセッティング画面で各モードの調整が可能です。

SETTING	BRAKE SUPPORT	CORNER SUPPORT	ACCEL SUPPORT	FRONT FIRM	REAR FIRM
T-1	4	0	0	-1	3
T-2					
R-1					

3. YRC Setting

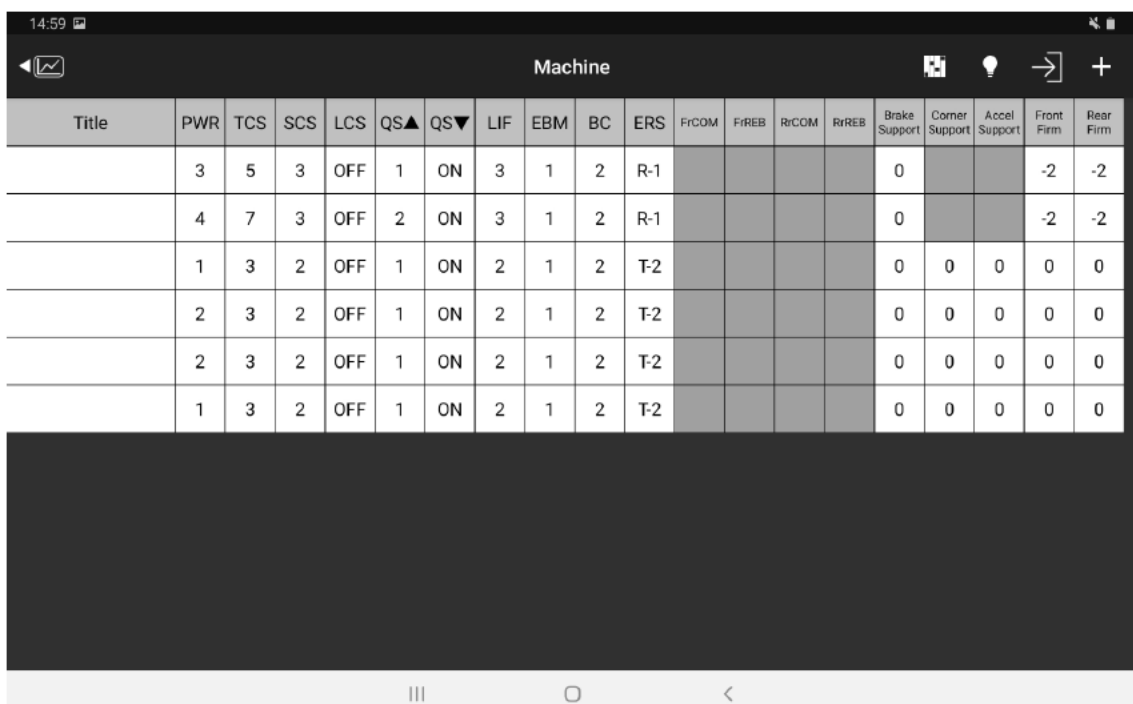
List Viewで編集する場合の画面切り替え

List View を選択



MODE-A	1	1	1	1	1	ON	1	1	1	T-1
MODE-B	2	2	2	2	2		2	2	2	T-2
MODE-C	3	3	3				3	3		R-1
MODE-D	4	4								M-1
		5	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF			M-2
YRC	PWR	TCS	SCS	LCS	QS▲	QS▼	LIF	EBM	BC	ERS

リスト形式でセッティングを編集することが可能です。



Title	PWR	TCS	SCS	LCS	QS▲	QS▼	LIF	EBM	BC	ERS	FrCOM	FrREB	RrCOM	RrREB	Brake Support	Corner Support	Accel Support	Front Firm	Rear Firm
	3	5	3	OFF	1	ON	3	1	2	R-1					0			-2	-2
	4	7	3	OFF	2	ON	3	1	2	R-1					0			-2	-2
	1	3	2	OFF	1	ON	2	1	2	T-2					0	0	0	0	0
	2	3	2	OFF	1	ON	2	1	2	T-2					0	0	0	0	0
	2	3	2	OFF	1	ON	2	1	2	T-2					0	0	0	0	0
	1	3	2	OFF	1	ON	2	1	2	T-2					0	0	0	0	0

3. YRC Setting

List View でのセッティング画面

リスト形式でセッティングを管理、編集できます。

新規作成／インポート／エクスポート／コピー／削除などを行うことができます。

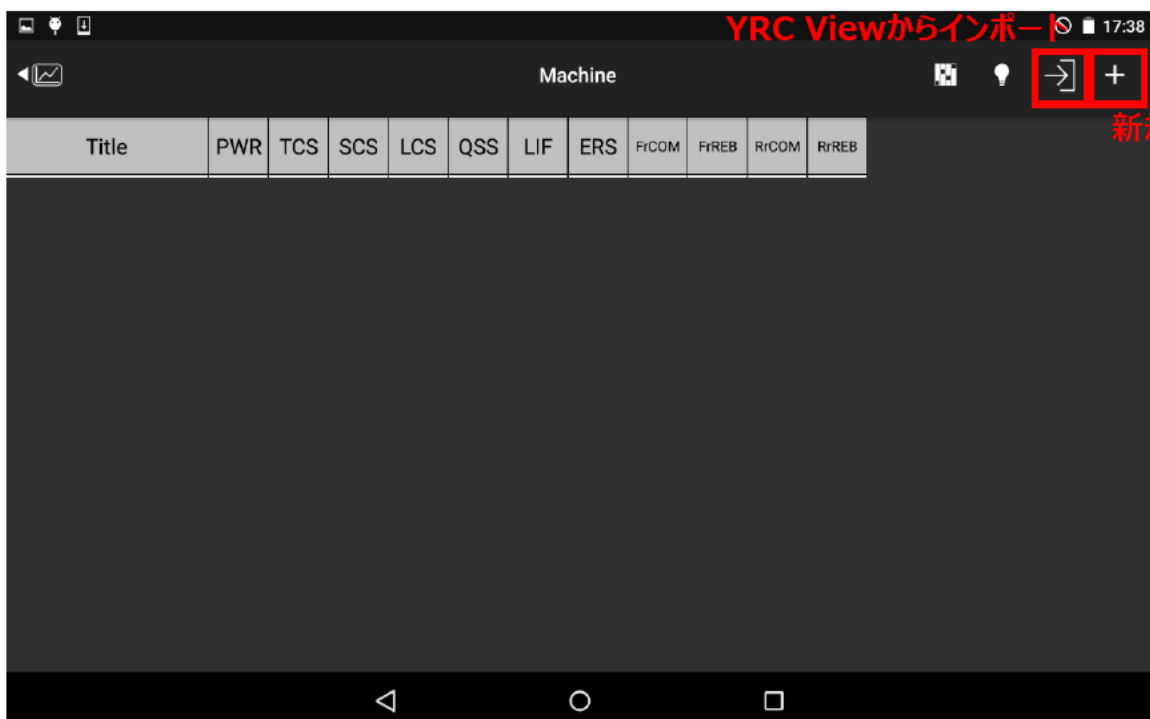


Title	PWR	TCS	SCS	LCS	QSS	LIF	ERS	FrCOM	FrREB	RrCOM	RrREB
sample1	1	3	2	OFF	1	1	A-2	(0)	(+1)	(0)	(0)
YAMAHA	2	3	3	1	2	1	M-1	16	16	13	17
ABCDEFGH12345	1	3	2	OFF	1	1	A-2	(0)	(0)	(0)	(0)
ABCDEFGH	1	3	2	OFF	1	1	A-2	(0)	(0)	(0)	(0)
RevsYourHeart	1	3	2	OFF	1	1	A-2	(0)	(0)	(0)	(0)
RevsYourHeartPart2	1	3	2	OFF	1	1	A-2	(0)	(0)	(0)	(0)
sample123	3	3	2	2	1	1	A-2	(0)	(+3)	(0)	(+3)

List View でのセッティング新規作成

List Viewを初めて使う場合、下の画面になります。

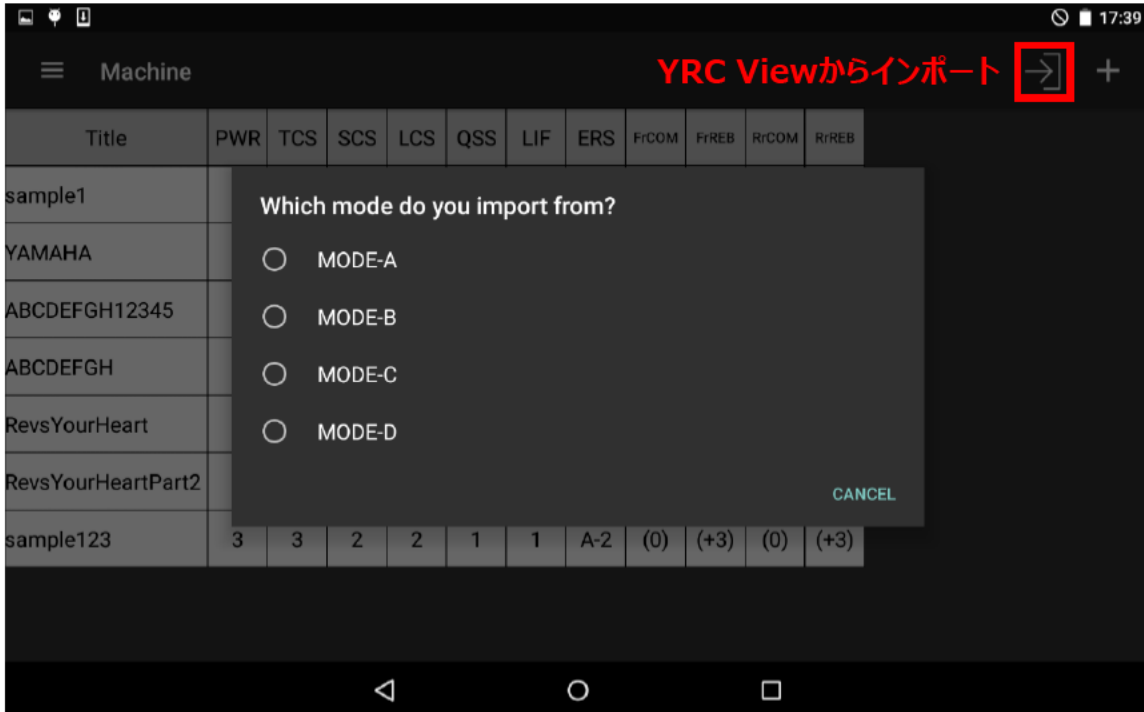
YRC Viewからインポート、または 新規作成を行います。



3. YRC Setting

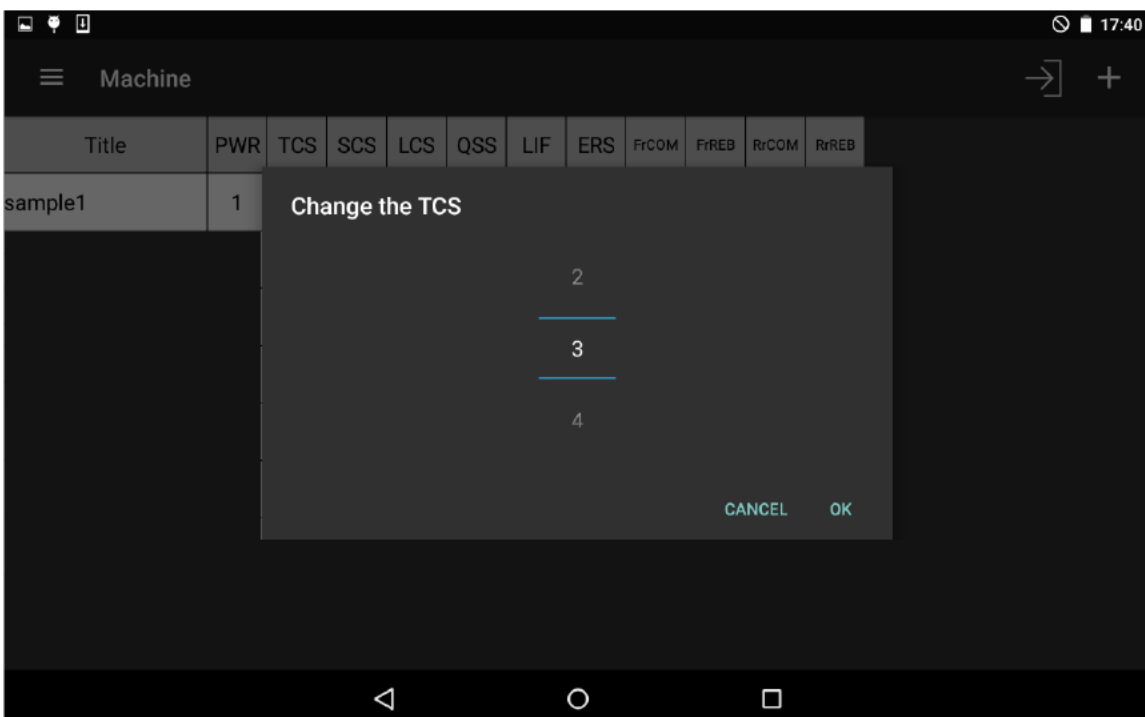
YRC View からインポート

List Viewでは、YRC Viewからデータをインポートして編集することができます。インポートをタップすると、YRC Viewにある 4 モードのいずれかを選択します。



List View でのセッティング編集

インポート、または 新規作成したら、各項目をタップして変更します。



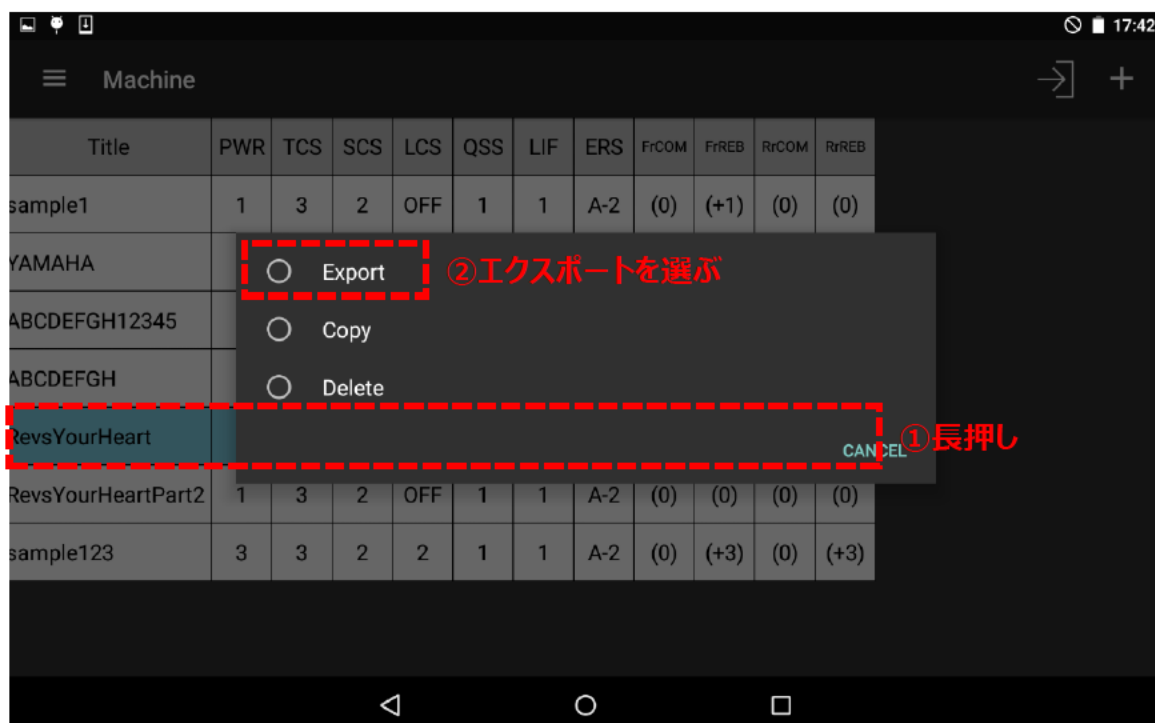
3. YRC Setting

YRC View へエクスポート

車両本体への送受信は YRC Viewで行います。

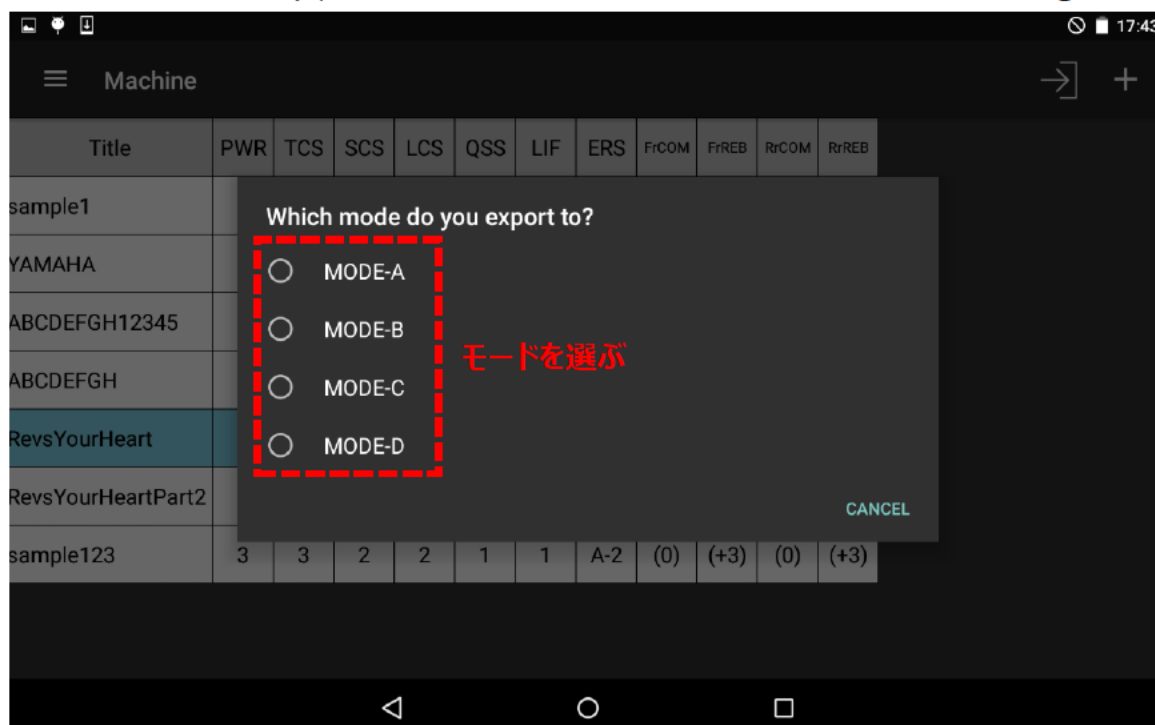
List Viewで編集したデータは、YRC Viewへエクスポートすることができます。

いずれかのデータ上で 長押し すると、エクスポート／コピー／削除 が選べます。



YRC View へエクスポート

エクスポートを選ぶと、次に YRC Viewの 4 モードのいずれにエクスポートするかを選びます。

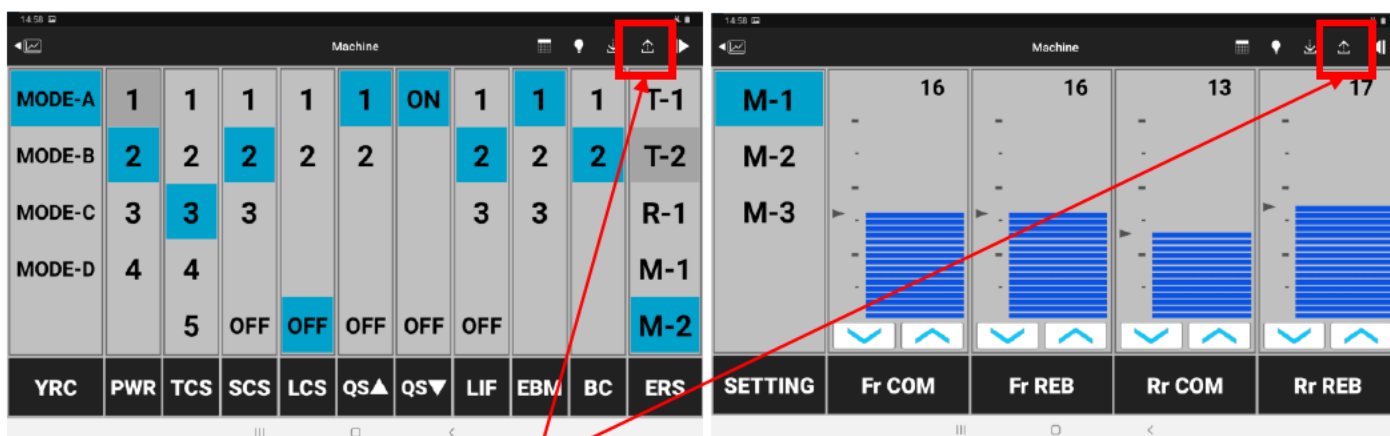


3. YRC Setting

車両へのデータ送信

YRC Viewで車両本体へ送信します。

※エンジン始動状態だと送信できません。また、メーターがYRC設定画面の場合も送信できません。

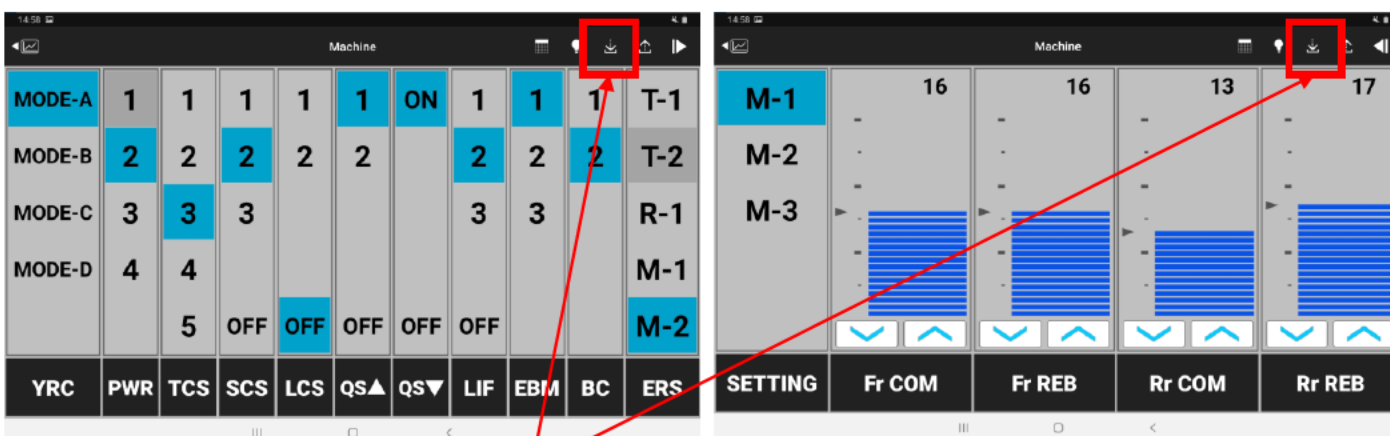


車両へ送信

(どちらの画面からでも、全モード及び全ERSが一括で車両に反映されます。)

車両からのデータ受信

YRC Viewでセッティングデータを車両本体から受信することが可能です。



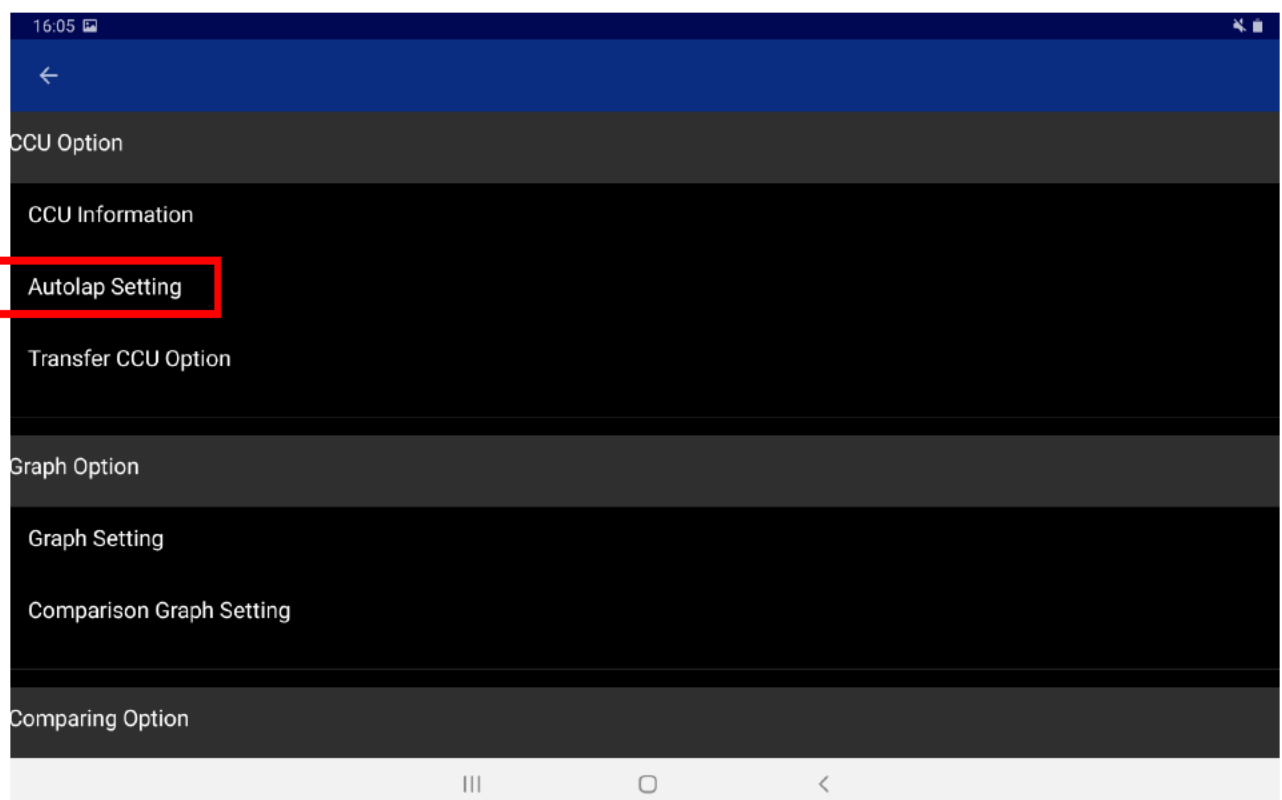
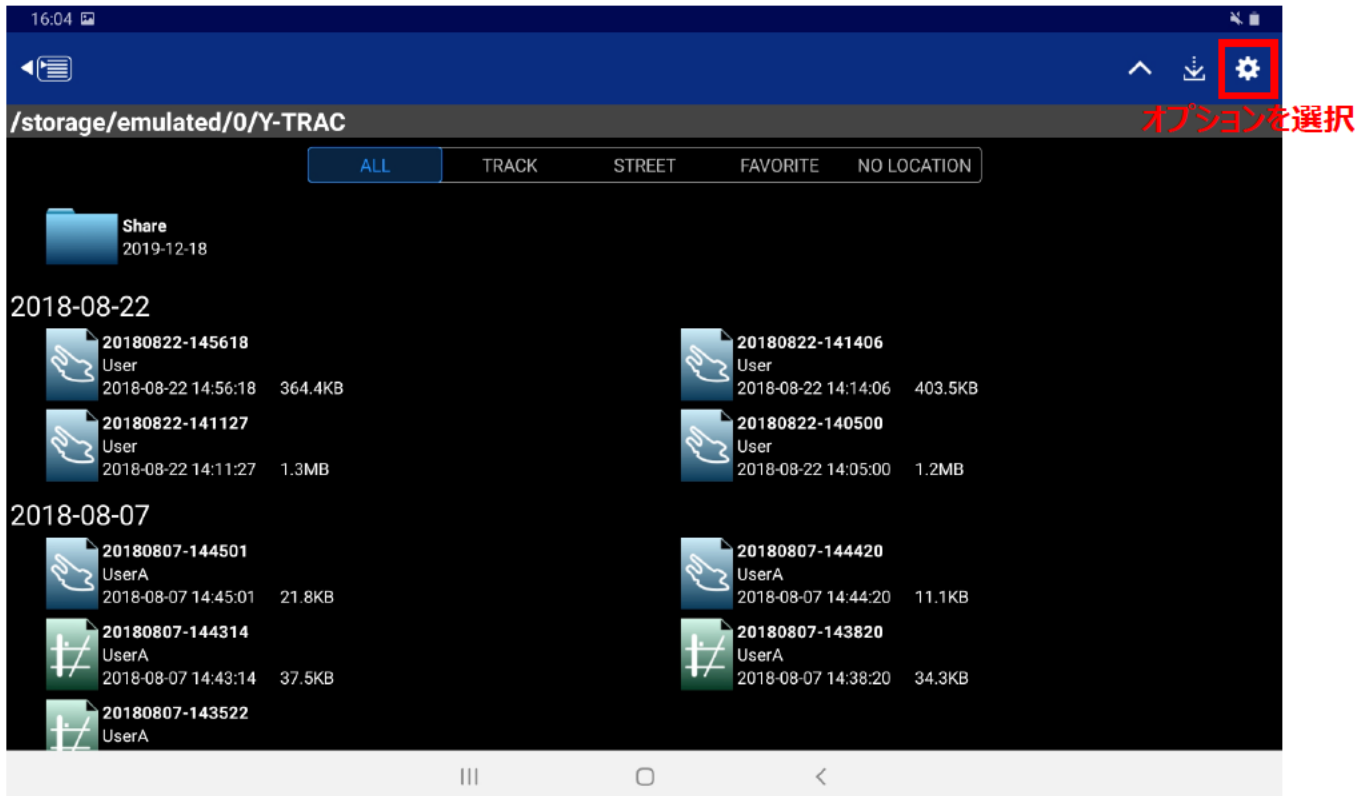
車両から受信

(どちらの画面からでも、全モード及び全ERSを一括で車両から取り込みます。)

4. Y-TRAC

LAP計測ライン設定（サーキット走行前に行います）

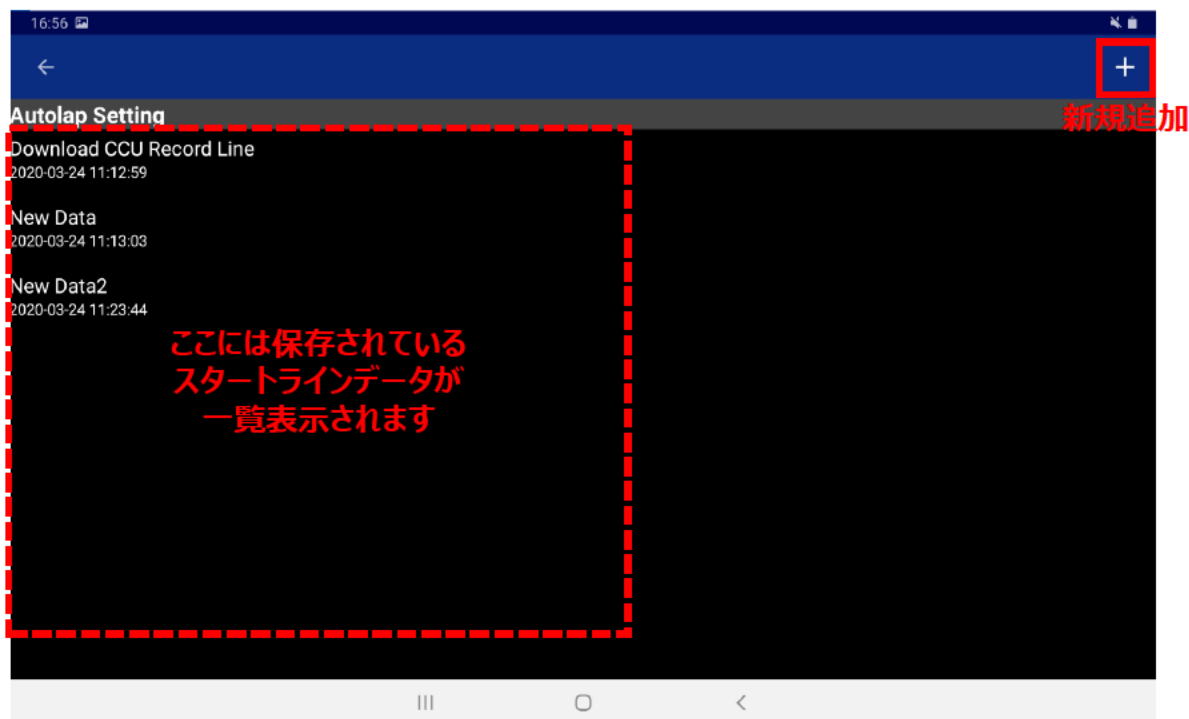
起動画面



4. Y-TRAC

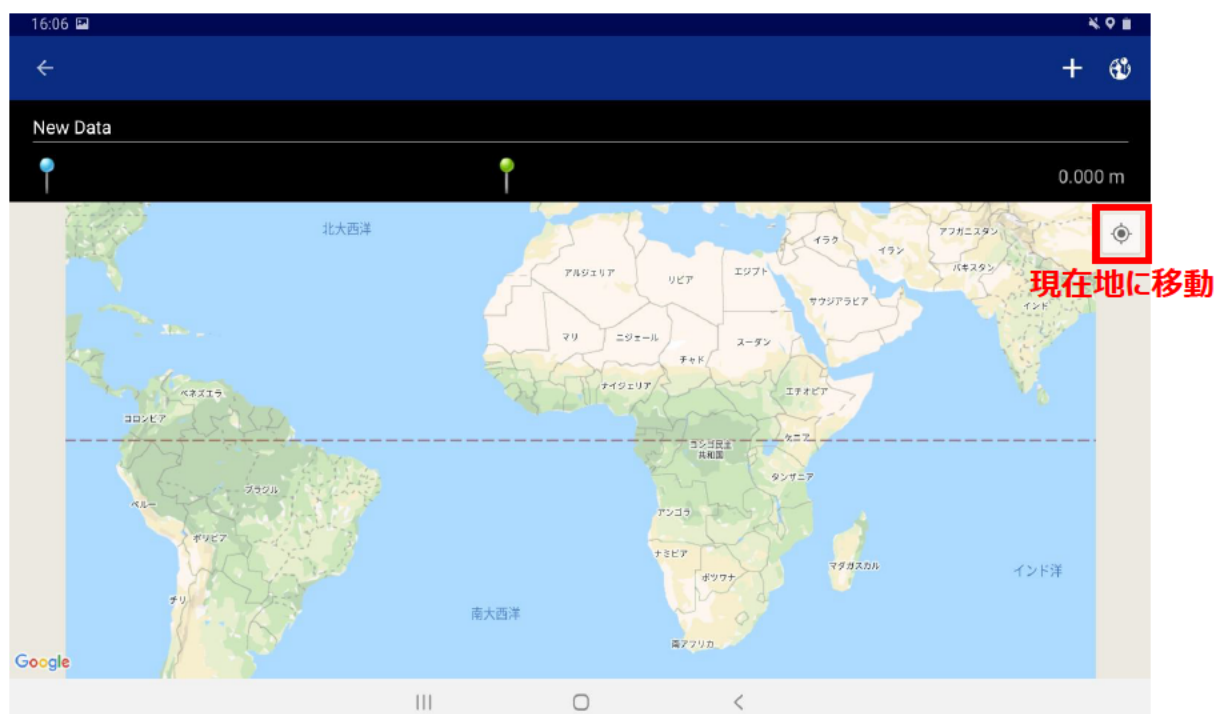
Autolap Setting

Lap計測のスタートラインを新規作成します。



地図表示

MAPが表示されるので、右上のアイコンを選択して現在地に移動します。
(MAPの表示には端末がインターネット接続されている必要があります)



4. Y-TRAC

場所の選択

GPSによる現在地表示、もしくは地図上から選択します。



場所の選択（航空写真表示）



4. Y-TRAC

Autolapのスタートラインの設定

青または緑のピンを長押し→ドラッグで任意の場所にスタートラインを引きます。



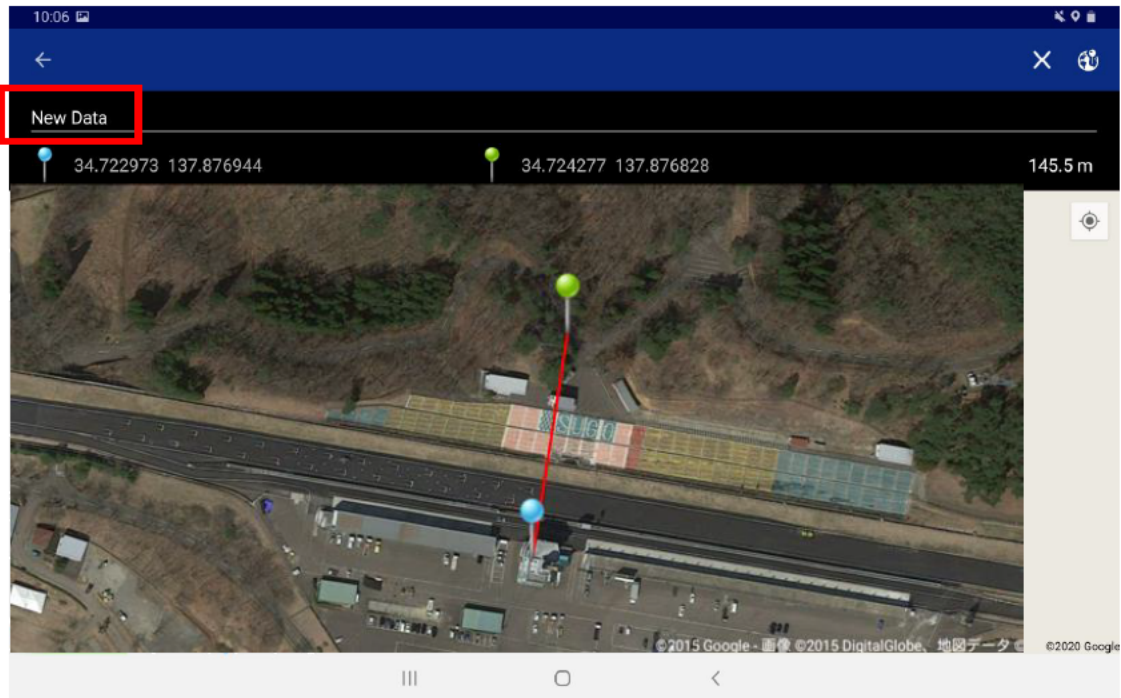
このラインを境にラップタイムが計測されます。



4. Y-TRAC

スタートラインデータ名称の入力、変更

設定したスタートラインに任意の名称を入力、変更します。



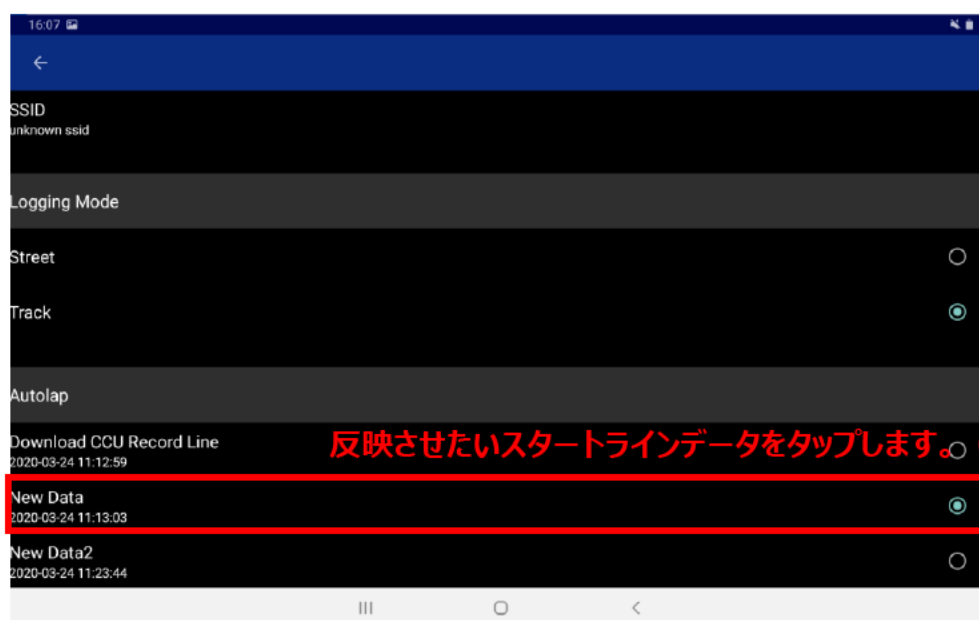
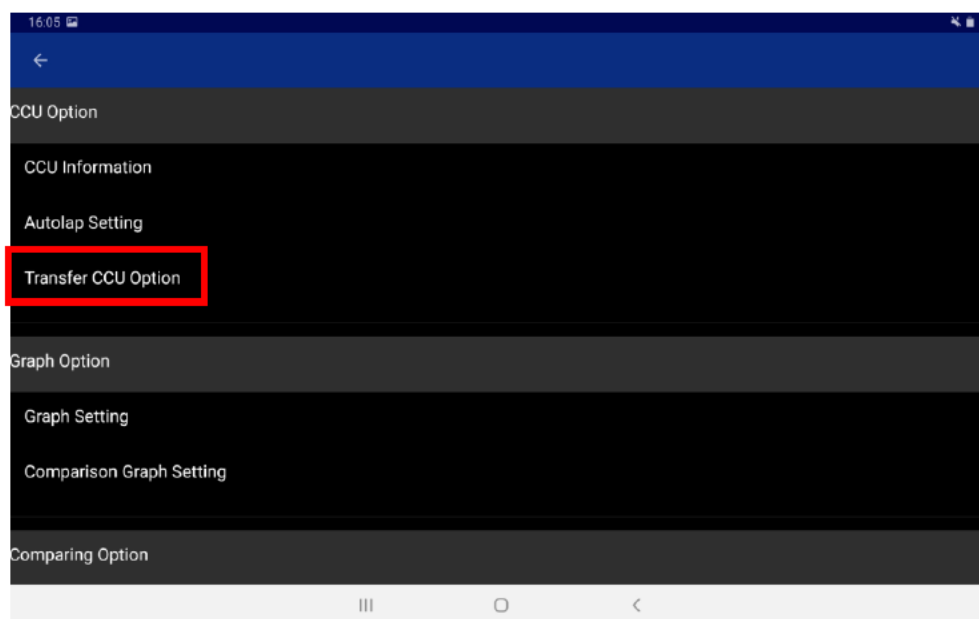
4. Y-TRAC

車両へのスタートラインデータ反映

スタートラインデータを車両に送信して反映します。

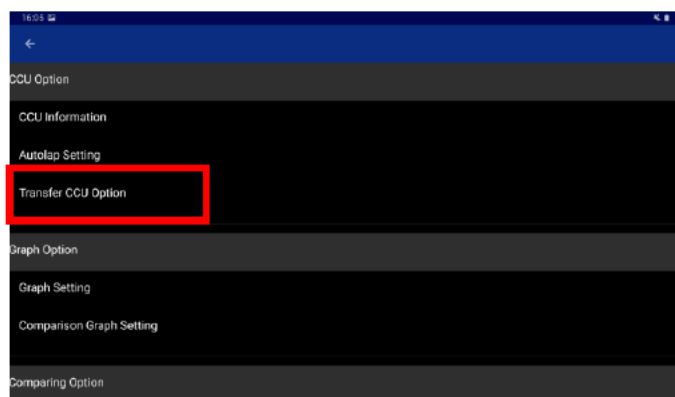
※この操作をすることで車両がスタートラインを認識します。

(車両へのスタートラインデータ反映は1つのみです。新たに別のスタートラインデータを送信すると以前のデータは上書きされます。)

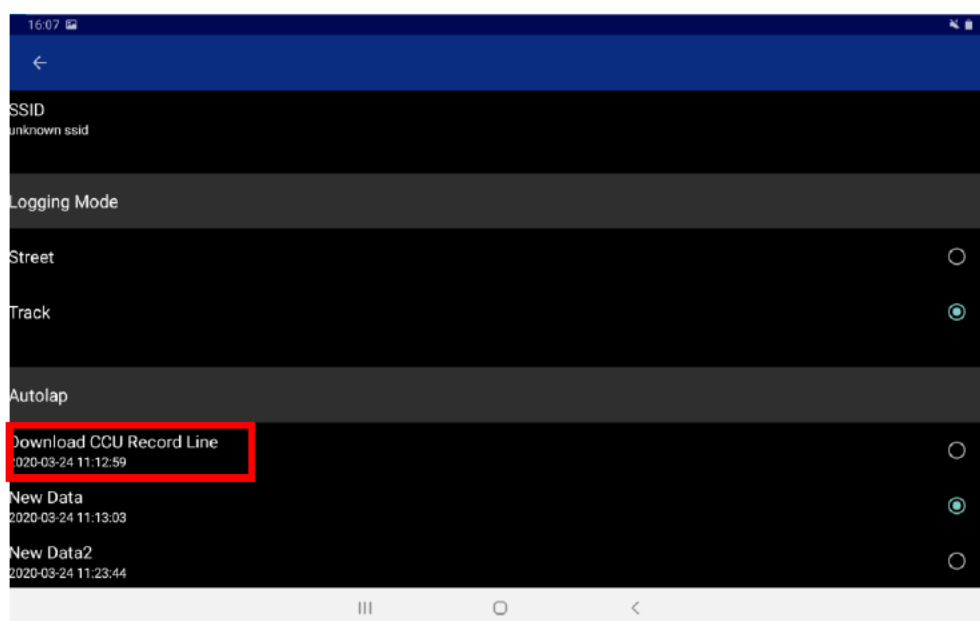


4. Y-TRAC

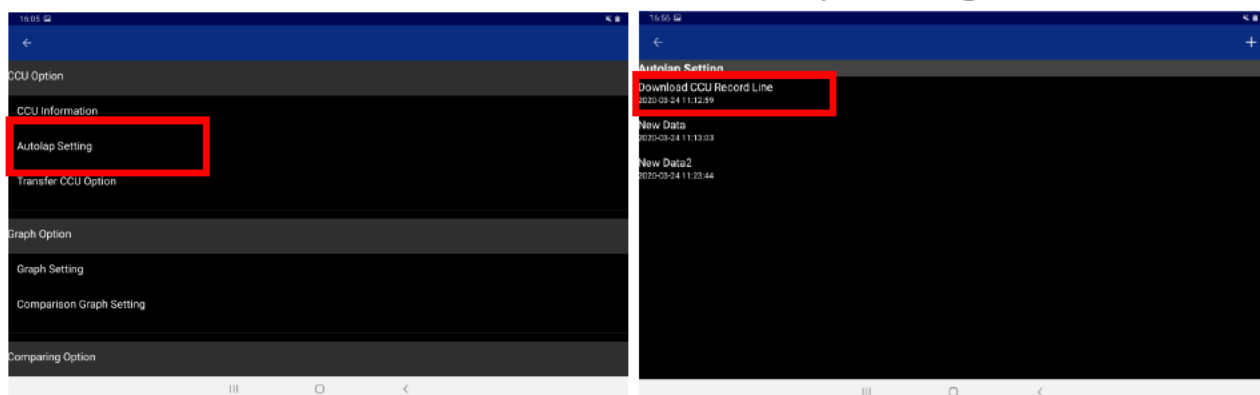
車両に反映されているスタートラインデータの確認方法



CCUユニットと接続状態で「Transfer CCU Option」画面を開くと、車両のスタートラインデータが自動で受信されます。



スタートラインデータの内容を確認する場合は、「Autolap Setting」画面にて確認します。



4. Y-TRAC

スタートラインデータ反映後の作動確認方法（メーターで確認する場合）

スタートラインデータ送信後に車両のラップタイマー機能を使い走行することで作動確認が可能です。

※エンジン始動状態でスピードメーターを TRACK MODE に切り替えてください。



ハンドル右側のホイールスイッチを短く押すとインフォメーション表示項目が点滅します。



4. Y-TRAC

スタートラインデータ反映後の作動確認方法（メーターで確認する場合）

インフォメーション表示項目が点滅中にハンドル右側のホイールスイッチを上側に1ノッチ回すとラップタイマー全体が点滅します。



ラップタイマー全体の点滅中にハンドル右側のホイールスイッチを長押しすると、ラップタイマー起動状態になります。
この状態で走行し、反映したスタートラインデータ位置を通過することで、自動的にラップタイマーが計測を開始し、周回することでラップ計測されます。
(ラップタイマー機能を使わなくても、CCUユニットに走行ログデータ、ラップ計測は記録されます)

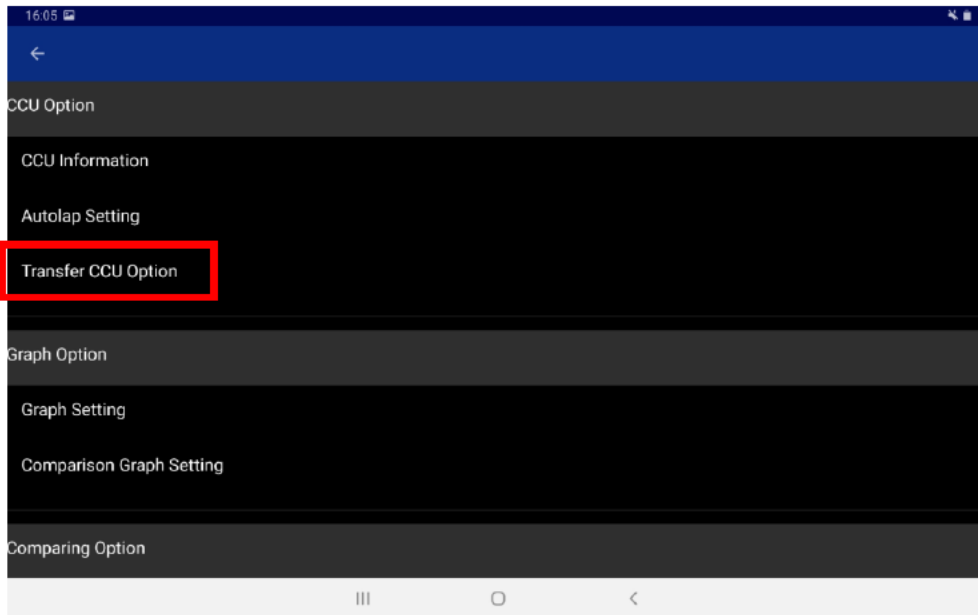


4. Y-TRAC

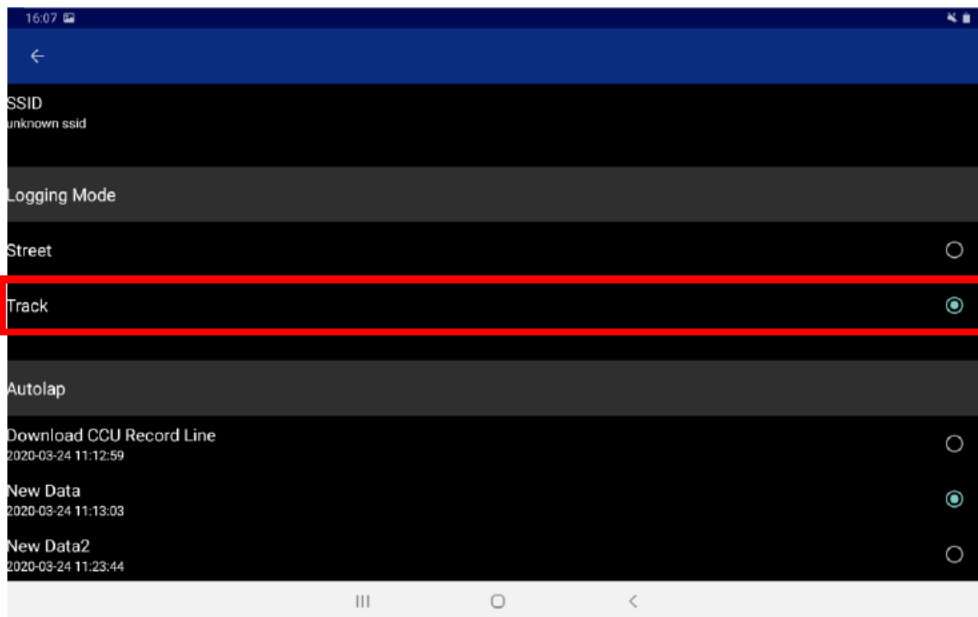
ロギングモード設定（サーキット走行前に行います）

Logging Mode

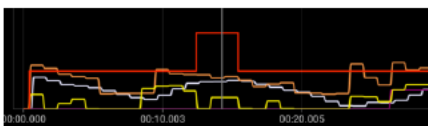
走行ログデータの記録密度を切り替えることができます。



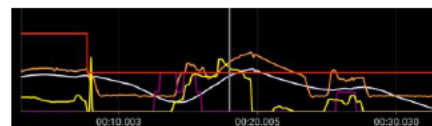
CCUと接続した状態で、モードを選択すると車両側に反映されます。
サーキット走行時には、高密度の「Track」を選択してください。



参考：イメージ



「Street」走行ログデータが粗い



「Track」走行ログデータが細かい

4. Y-TRAC

走行ログデータの閲覧

Y-TRAC 起動画面（ボタンの説明）



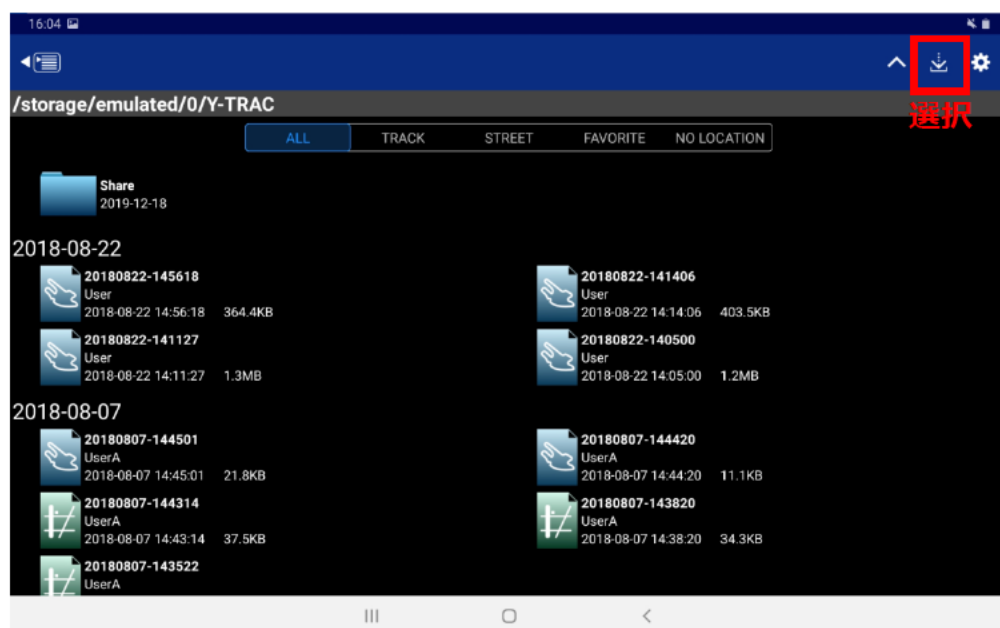
車両から走行ログデータの受信（ダウンロード）

CCUと接続した状態で、ダウンロードをタップします。

初回は画面表示に沿って、SSID設定を行ってください。

（SSIDとは「YAMAHA MOTOR CCU ~~~~」のことで、Y-TRAC のオプション設定の CCU Information に設定する必要があります）

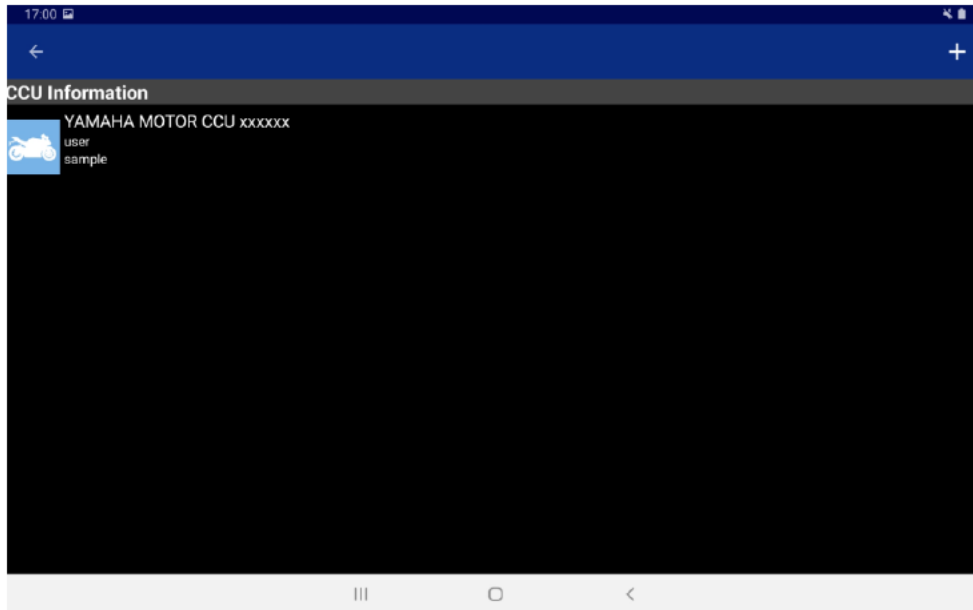
SSID設定が済んでいれば 次回からはそのままダウンロード画面に移動します。



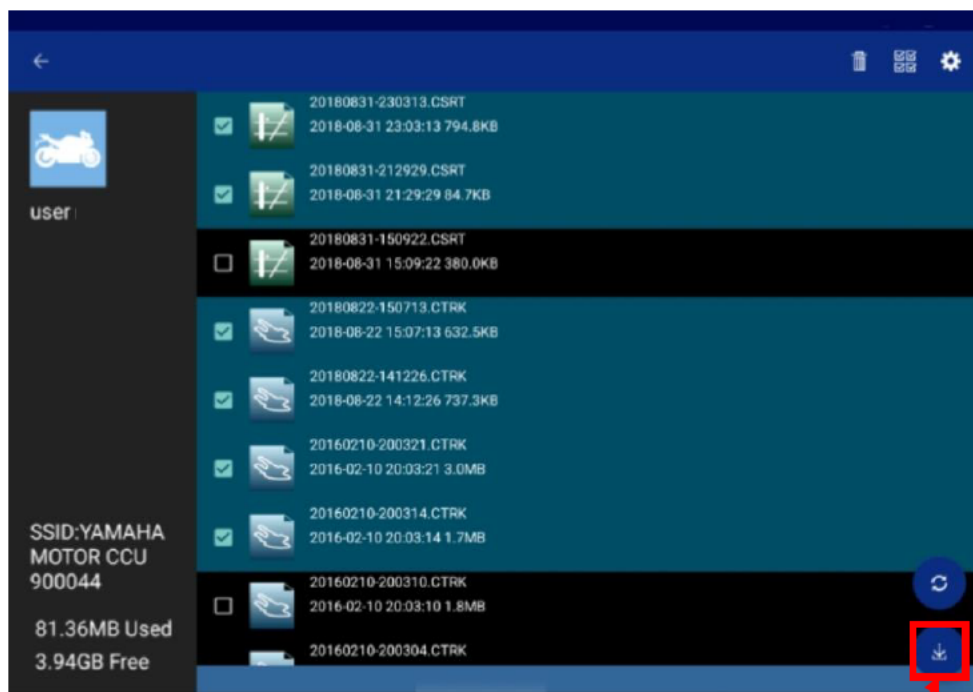
4. Y-TRAC

走行ログデータの閲覧

画面例：オプション設定の CCU Information に SSIDが設定されている状態



画面例：ダウンロード画面

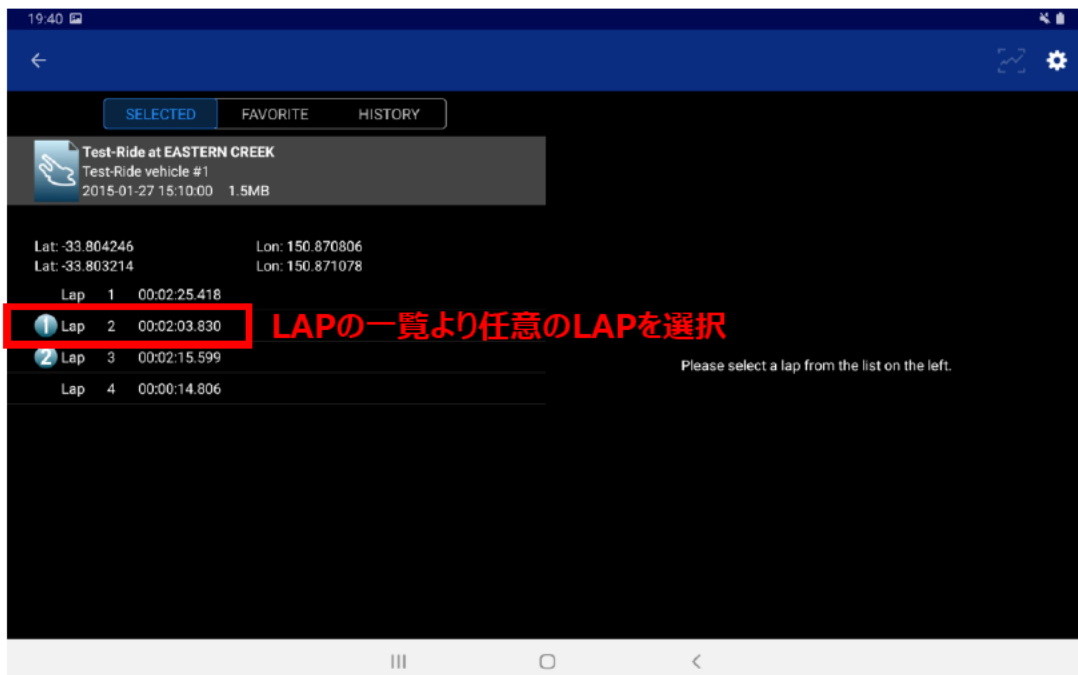
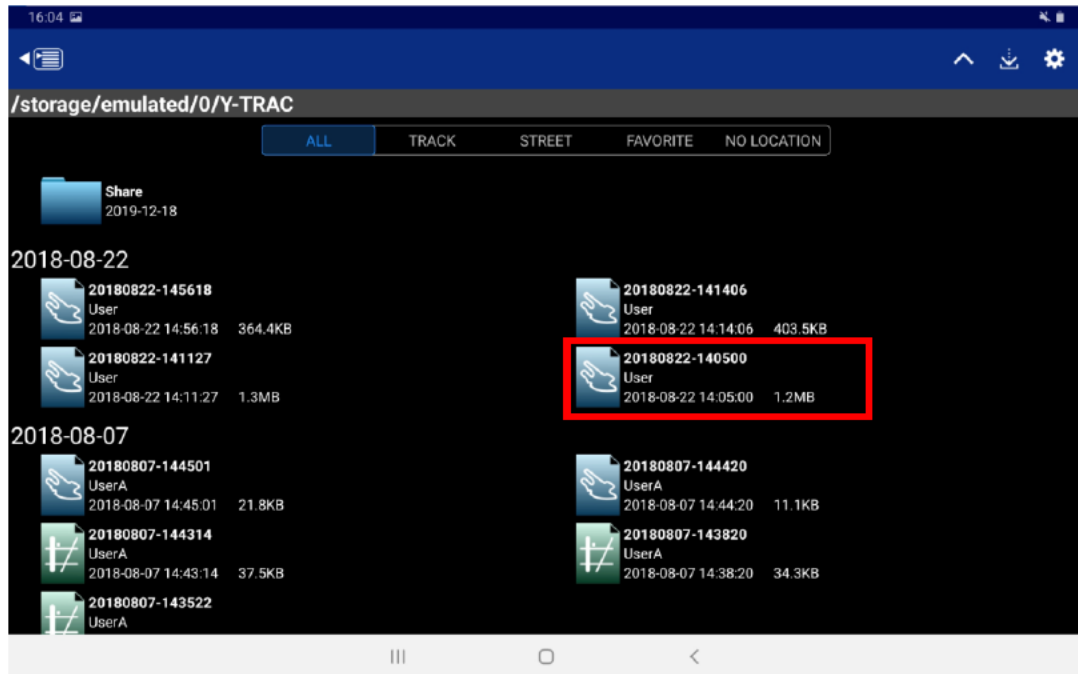


ダウンロード実行

4. Y-TRAC

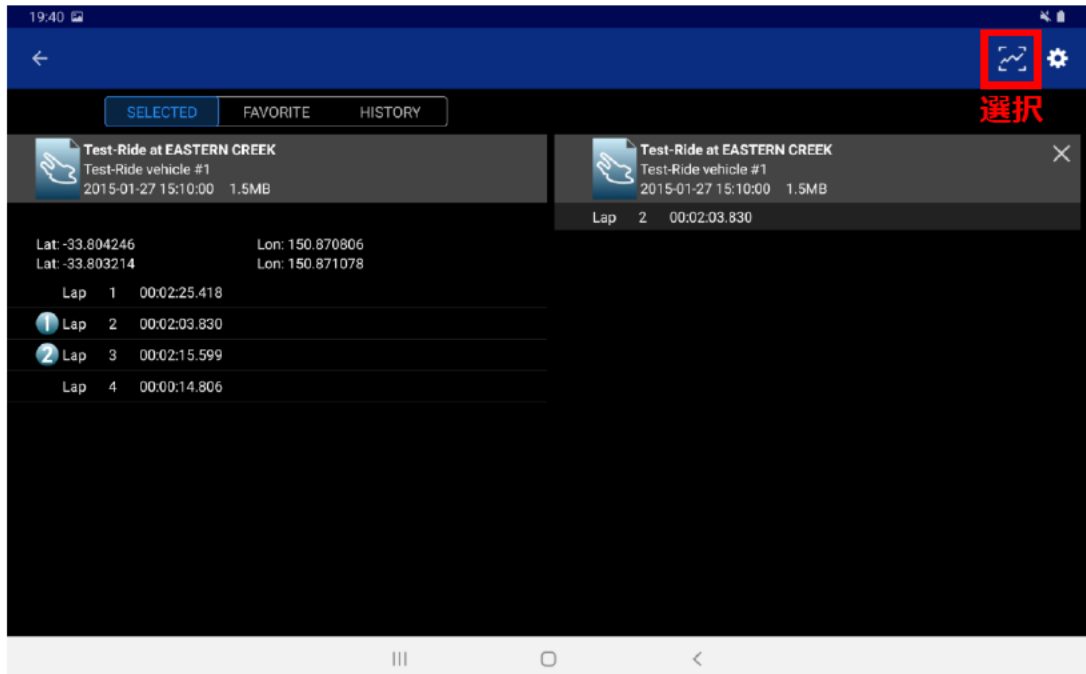
走行ログデータの閲覧

走行ログデータの表示



4. Y-TRAC

走行ログデータの閲覧



グラフが表示されます。



4. Y-TRAC

走行ログデータの閲覧

項目を選択するとグラフが強調表示されます。



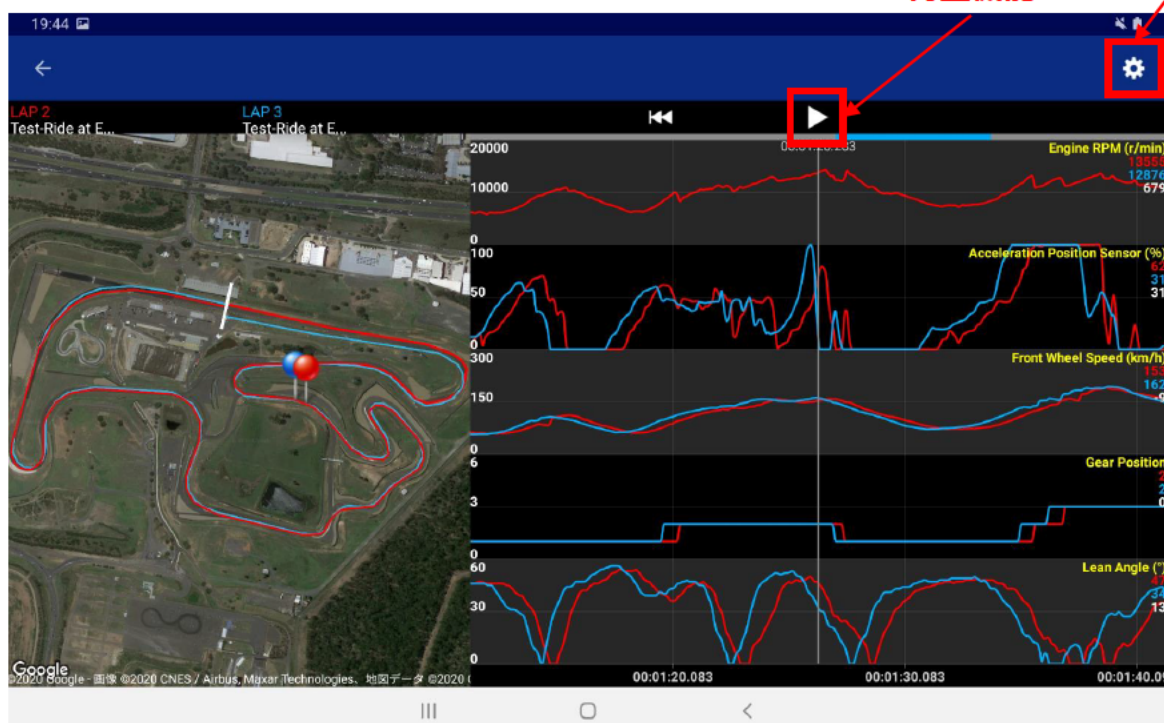
4. Y-TRAC

走行ログデータの比較

2つのLAPを選択して、比較することができます。
(同一の走行ログデータ内の異なるLAPを選択した場合の例)



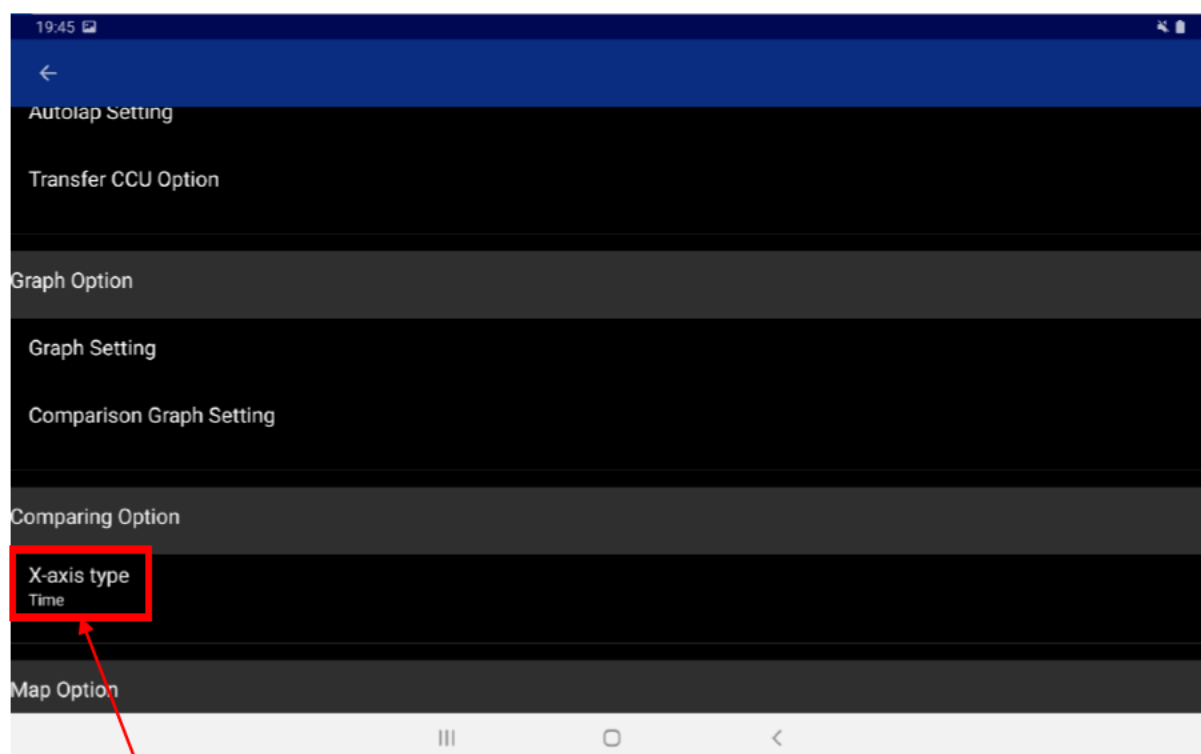
2つのLAPのグラフが表示され、比較が可能です。



4. Y-TRAC

オプション設定

各項目の表示設定や単位設定等を行います。



比較グラフの横軸の選択 (X axis type)

- 距離 (Distance) ⇒ 同一の走行箇所での比較を行うことができます。
- 時間 (Time) ⇒ こちらの場合は、再生機能を使用できます。